

【認定情報】審査期間

認定審査期間の実績(H27.10月～12月)

	標準期間	実績
新規	2ヶ月	58日 ～70日 (2ヶ月程度)
新規 (特定天井あり※1)	2.5ヶ月	—
計画変更	1.5ヶ月	—
計画変更 (特定天井あり※1)	2ヶ月	—
軽微な変更	1ヶ月	14日※2～35日 (1ヶ月程度)

— は該当期間内での実績なしを示す

※1

特定天井がある場合は「通常の審査期間 + 0.5ヶ月」を目安としてください。

※2

変更が1項目の場合に、2週間（14日）で交付された実績があります。

概ね標準期間となっております。

【解説】免震材料の性能評価方法の改正

◇建築基準法施行規則等の一部改正

東洋ゴム工業（株）による免震材料の不正事案を受け、免震材料の性能評価の審査方法が見直されました。

(改正概要)

性能評価の審査方法において実地確認が追加

従来、申請図書等による審査が行われていましたが、製品の性能試験の立ち会い、品質管理体制の審査を実地にて確認することが新たに求められます。

(実地確認に要する手数料の額)

	①製品の品質 検査	②品質管理 体制	①②同時
重点確認対象者以外	46万円	46万円	82万円
重点確認対象者※1	82万円	62万円	138万円

※1「認定を受けようとする免震材料について5年以内に認定取消しを受けた者」等の要件に該当するもの。

(スケジュール)

施行 平成27年12月31日

※免震材料以外の指定建築材料は平成28年中に施行予定

【パブコメ】 長周期地震動への対策案

◇超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動への対策案（パブリックコメント）

内閣府における「南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動に関する報告（2015.12.17）」が取りまとめられたのを踏まえて、建築基準法に関する、超高層建築物等における長周期地震動への対策案が示されました。

長周期地震動への具体策

- ①設計用長周期地震動1波以上（レベル2に対応）による検討
検討用地震動は周期0.1秒～10秒の成分を含み、継続時間500秒以上。
- ②家具等の転倒防止対策に対する設計上の措置。
- ③免震材料の種類や鉄骨梁端部の形状に応じて、長時間の繰り返しの累積変形による影響を考慮した解析、検証。

（スケジュール）

パブコメ意見募集 平成28年2月29日まで

省令・告示の公布 未定

施行 未定

新たな情報が入り次第、お伝えいたします。

※パブリックコメントHP

[http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTD
&id=155150738&Mode=0](http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTD&id=155150738&Mode=0)

【パブコメ】 既存不適格建築物への増築緩和

◇建築基準法施行令等の一部改正（令第137条の2）（パブリックコメント）

既存不適格建築物へ増築等を行う場合、超高層建築物は法86条の7による緩和規定が適用されず、構造安全性は現行規定（法20条）によるものとされていました。今般の改正で、超高層建築物についても緩和規定の対象となります。

（スケジュール）

省令・告示の公布 平成28年1月中旬

施行 平成28年6月1日

具体的な緩和基準であるH17年国交省告示第566号の改正案は間もなく公表（パブリックコメント）される予定です。パブリックコメントが出ましたらメールサービスにてお伝えいたします。

※パブリックコメントHP

[http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PC
&id=155150735&Mode=0](http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTD&id=155150735&Mode=0)

【イベント】情報交流・構造技術セミナー開催報告

今回で3回目となりました「GBRC情報交流・構造技術セミナー」を昨年11月25日（水）に開催いたしました。今回はメイン会場を本部（吹田市）とし、講演の他にGBRCの試験施設をご紹介いたしました。特別講演では、GBRCで性能評価を受けていただいた建築物の設計事例について設計者からご講演いただき、多賀先生から、設計者判断を行う際の留意点や最新の研究内容など幅広いテーマでご講演いただきました。

※本セミナーはJSCA建築構造士登録更新のための評価対象講習会、建築士会CPD単位認定講習会です。

【開催概要】

第1部

- ・性能評価の現況、最新情報の紹介
- ・風洞実験、動風圧試験について
- ・特別講演

吹田市立スタジアムの構造設計：(株)竹中工務店 奥出様

フェスティバルシティの構造設計：(株)日建設 吉田様

「精緻な解析」と「設計者判断」について：神戸大学 多賀先生

第2部

- ・本部施設見学（構造試験室、耐風試験室、材料試験室）
- 懇親会

【参加人数】

本部 36名、大阪事務所 14名

お忙しいところ、本セミナーにご参加いただきました皆様には厚くお礼申し上げます。来年度も開催を予定しておりますので、取り上げて欲しいテーマやご意見などございましたら事務局までお寄せください。

【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。今年のお正月は天候もよく、暖かなお正月となりましたね。土日と重なり、少々短いのが残念でしたが…。皆様はどのように過ごされたのでしょうか。

それでは、本年も皆様にご利用頂きやすい評価機関となるよう、心がけてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



セミナーの様子

(上：本部、下：大阪事務所)



施設見学（構造試験室）

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
建築確認評定センター 性能評定課
担当：岩佐、野村、山崎
TEL：06(6966)7600 FAX：06(6966)7680
E-mail：seinou@gbrc.or.jp